

## 平成30年度 建設検討委員会での発言の整理

子ども・子育て世代との交流	
委員発言	市の考え
キッズスペースを設置し、幼稚園教諭が待機することで、朝晩の預かり保育を実施する。親が仕事終わりに子どもを引き取って帰る機能があるといい。	老人福祉センターに保育園のような機能を設けることは、施設の趣旨及び管理面から不可能ですが、多目的室の用途の一つとして、子どもが遊ぶことができるスペースを検討していきます。
キッズスペースを設置し、子育ての支援をして欲しい世代と高齢者世代との交流ができるようにする。	多目的室に外部から出入りできる計画とし、キッズコーナーを設け、必要に応じてセキュリティを掛けられる計画とします。
芸能ショーの時間に保育園や幼稚園などの子に何かをやっていただきたい。若い世代と触れ合う場があるといい。	第1老人福祉センターにおいて既に実施している園児との触れ合いイベントを参考にして、施設運営の中で検討していきます。

①

「食」を通した多世代とのつながり	
委員発言	市の考え
臨地実習に使えるような施設になると、高齢者世代の食育に貢献できる。	面積の関係上、カフェスペース以外に調理スペースを設けることは不可能であり、
調理実習機能を設けていただければ、大学の学生、教員が出向き、高齢者世代が有する豊富な調理経験というのを活かした上で、多世代の交流を図るようなスペースとして使えるのではないか。	また、調理実習の機能を設けると、その部屋の用途が限定されてしまうため、施設運営の中で、カルチャーゾーン及びコンベンションゾーンを活用した講座等の実施を検討していきます。

地域との交流	
委員発言	市の考え
朝市などを開催して地域住民が集えるようにしたらどうか。	オープンスペースを活用し、第2老人福祉センターで開催されている朝市などを参考にして、地域住民等が自由に集えるようにしていきたいと考えております。
高齢者世代が、料理の提供や販売ボランティアのような形で参加いただく。	
コンビニや小売りスペース、カフェを設置し、他の世代も利用できるようにするのはどうか。	施設を設置するにあたり、コンビニ等の営利目的の諸室を設けることは不可能であるため、第1及び第2老人福祉センターを参考にした喫茶スペース、小売スペースの設置を考えていきます。

	<p>カフェの一角に売店スペースを設け、第1老人福祉センターと同様に、一体的に運営できる計画とします。</p>	②
<b>施設規模、機能、ゾーニング、備品</b>		
委員発言	市の考え	
<p>畳の部屋は座れない方もいるため、椅子等利用できるよう検討してほしい。</p> <p>コンベンションゾーンでは、畳よりはフローリングなどの方が便利ではないか。</p> <p>野口のように囲碁をやる部屋は半分椅子で、半分畳のように和洋折衷がよい。</p>	<p>第1及び第2老人福祉センターにおいて、畳に座れない方には中椅子をご利用いただけるよう、備品を配置していることから、(仮称)第3老人福祉センターにつきましても、既存のセンターと同様に配置するよう検討していきます。</p> <p>なお、諸室の意匠につきましては、いただいたご意見を参考にして、基本設計の中で検討していきます。</p> <p>集会室は第1・第2老人福祉センターと同様に畳敷きとし、畳に座れない方は中椅子を利用できる計画とします。</p> <p>教養娯楽室は半分を畳敷きとし、椅子と畳を選択できる計画とします。</p>	③
音響等の設備を充実させて欲しい。	<p>第1及び第2老人福祉センターを参考に検討していきます。</p> <p>改築した第1老人福祉センターと同等の音響設備とし、検討していきます。</p>	④
コンベンションゾーンでは、更衣や待機をしやすいような配置にしていきたい	<p>控室を2部屋設けることにより、更衣や待機をしやすいようにします。</p> <p>ステージの両脇に控室を各1部屋ずつ設けます。</p>	⑤
季節によって、屋外の一角にテラス喫茶を設けていただけたらいい。	<p>にぎわいゾーンのカフェとオープンスペースを一体的に利用することを検討していきます。</p> <p>広場に面してテラス席を計画します。</p>	⑥
四季折々の展示があればいい。	<p>四季折々の展示ができるよう、施設運営の中で検討していきます。</p> <p>交流ゾーン壁面に沿って展示棚設置スペース、ピクチャーレールを設けるなど、展示スペースを検討していきます。</p>	⑦

<p>施設の外周に緑や花があるといい。</p>	<p>植栽等の配置につきましては、基本設計の中で検討していきます。 配置計画に合わせ、適宜植栽帯を設けます。</p>	⑧
<p>駅に近く、利用者以外が駐車する可能性があるため駐車場の管理が心配。</p>	<p>適切な管理をするべく、費用面も含め効果的な方法を検討していきます。 配置計画に合わせ、休日・時間外は車両出入口にバリカーを設置し、駐車場管理できる計画とします。</p>	⑨
<p>機能によって全部部屋を分けてしまうと、スペースが足りないということも出てくるので、用途が明確なスペース以外はスペースを可変で造れるといい。</p>	<p>居室の仕切りについては、柔軟な利用が可能となるよう、基本設計の中で可動間仕切り壁を取り入れるよう検討していきます。 多目的室と喫茶室の間に可動間仕切り壁を計画し一体利用可能とします。 会議室中央に可動間仕切り壁を設置し、一体利用可能とします。 機能回復訓練室とフィットネスの間に可動間仕切り壁を設置し、一体利用可能とします。 ボランティア室（和室）は襖により分割して利用可能とします。</p>	⑩
<p>管理する立場では、事務所から全体が見渡せるような構造が理想。 すぐに集会室に入れるように、入口付近で滞留しないような構造がいい。 浴室は、安全面からすぐに対応ができるように近くにあったほうがいい。</p>	<p>利用者の利便性を考慮し、施設の管理運営が効率的に進められるよう、基本設計の中で検討していきます。 出入口と交流ゾーンに面して事務室を設置し、利用者の出入りを管理しやすい計画とします。 人が滞留できる交流スペースに面してカウンターを設け、出入口が混雑しないよう検討します。 浴室側に行ける緊急車両動線を設け、救急車が近くまで寄り付ける計画とし、安全性に配慮します。</p>	⑪
<p>喫茶室は外部からも入るようにする場合、中での履物を考えてもらいたい。</p>	<p>外部からも喫茶室に入室できる第1老人福祉センターの運用と同様に、土足禁止とします。</p>	

<b>「学び」を通じた交流・支援</b>	
委員発言	市の考え
<p>教育機関と連携するなど講座機能の一部を持つことができないか。</p> <p>駅前からスクールバスを無料を出し、利用者に大学の方へお越しただいて、大学の持っている学びの資産を活用していただくということも可能かと思えます。</p>	<p>施設利用者のニーズを踏まえ、施設運営の中で教育機関との連携を検討していきます。</p>

<b>まちづくり</b>	
委員発言	市の考え
<p>ロータリーでコミュニティーバスの発着地として拡大して使えれば、高齢者世代の活動範囲がより広がるのではないか。</p>	<p>ロータリーについては、施設外の部分となるため、ご意見としていただきます。</p>

<b>その他</b>	
委員発言	市の考え
<p>老人福祉センターに代わる名称（ネーミング）を設定できないか。</p>	<p>老人福祉センターは法に基づいた名称であるため、愛称を設けることで親しみの持たれる名称としたいと考えております。</p> <p>第1及び第2老人福祉センターと同様に、公募により名称を決定します。</p>